

ウインターカップ2017
 平成29年度 第70回全国高等学校バスケットボール選手権大会 岡山県予選会

日時	2017年11月4日	10:00	女子	決勝
会場名	玉島の森(体育館)			(M)コート

○ 就 実 107	$\left\{ \begin{array}{l} 26 - 8 \\ 29 - 8 \\ 27 - 17 \\ 25 - 15 \end{array} \right\}$	48 岡山東商業 ●
-----------	----------------------------------------------------------------------------------------	------------

審判名	主 審	濱本 淳子	副 審	石川 貴基, 岸本 祥也
-----	-----	-------	-----	--------------

選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル
田村 幸子(C) *	4	7		3	1	3	岡崎 友恵(C) *	4	16	2	5		3
那須 愛加 *	5	32	3	11	1	1	荒木 千亜希 *	5	4		2		
青木 南々華 *	6	14	2	3	2		島添 春華	6	1			1	2
森 夕佳 *	7	16		7	2	4	藤川 梨那 *	7	4		2		5
吉長 夏生	8	6		3			藤原 光彩 *	8	19	1	5	6	
平尾 美玖	9	0					川上 美乃里 *	9	4		2		3
岩谷 樹	10	0					山本 侑果	10	0				
小坂 幸羽 *	11	8	2	1		1	小坂 侑奈	11	0				
井上 玲菜	12	4		2		1	服部 菜々	12	-				
平井 日奈子	13	-					今井 沙都	13	-				
中矢 愛乃	14	0					森景 莉音	14	-				
山中 茜音	15	-					平田 葉菜	15	0				
岡村 季保	16	14		7		1	永瀬 愛依	16	-				
松尾 梨央	17	6		3		1	永山 美憂	17	-				
北村 歩	18	-					三島 瑠季	18	-				
合 計		107	7	40	6	12	合 計		48	3	16	7	13

戦 評

女子決勝は、ここまで危なげなく勝ち上がってきた就実と、準決勝で倉敷翠松を延長の末に下した岡山東商業との対戦となった。1P、就実は⑤のインサイドへの飛び込みや⑪の3ポイントで、開始直後から東商を突き放す。東商はアウトサイドのハンドオフプレーやドライブなど、動きのあるオフェンスを組み立てるが、就実の堅いディフェンスの前に得点ができない。高さで勝る就実に対し、東商はリバウンド争いやインサイドの攻防においてファウルが嵩む。東商は④の緩急をつけたドライブからの連続得点や、⑧のジャンプシュートで得点するものの、26-8で就実に大きくリードされ1Pを終える。

2P、就実は開始から⑦のオフェンスリバウンドを⑥の3ポイントに繋げると、その後も④の速攻などでリードを広げる。開始4分、東商が⑨ドライブから⑦への合わせで就実のファウルを誘うと、直後にも⑧のオフェンスリバウンドから就実④のファウルを誘い、フリースロー2本を着実に決める。東商はその後⑤のジャンプシュート、⑨から⑦への合わせで連続得点。試合の流れが傾きかける。しかし終盤は就実が⑤の連続3ポイントなどで得点を伸ばす一方、東商は積極的にシュートを打つもの決めることができず、55-16で前半を終えた。

3P、序盤は東商が2対2のスクリーンプレーから⑦が得点に繋げると、④の3ポイント、⑧のインサイドプレーを得点に繋げて流れを掴む。しかし中盤は就実⑩が積極的にドライブを仕掛け、自らの得点や合わせのパスで流れを引き戻す。東商は終盤に④と⑧のピック&ロールから就実⑦の4つ目のファウルを誘うと、⑧がフリースローを着実に決める。その後も東商は果敢に攻めるが、⑧の3ポイントや⑤のドライブはリングに弾かれて得点は伸びず、82-33で3Pを終える。

4P、就実は引き続き⑩のスピードを活かして攻撃を組み立てる。一方、東商は⑨がドライブやパスカットからの速攻で活躍を見せる。しかし開始3分、就実⑧がインサイドでポストアップすると、東商⑦が5つ目のファウルをしてしまいファウルアウトとなる。東商は④の3ポイントや⑧の速攻などで粘るが、就実の得点を止めることができない。試合終了間際に東商⑧が3ポイントを決めるものの、序盤のリードを堅守した就実が107-48で勝利し、5年連続21回目のウインターカップ出場を果たした。

